

建築改修工事特記仕様書 追補（その3）

建築材料		性能及び品質規定		章	項目	特 記 事 項	章	項目	特 記 事 項																																													
・ 人工屋上緑化用システム	屋上緑化システムは以下の仕様を満足した製造所の製品とする。			室内空気汚染対策	① 建築材料の規制対象化学物質 ② 居室を有する建築物に用いる建築材料の仕様	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、クロルピリホス、ダイアジノン、フェノルカルブ、パラジクロロベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、テトラデカン、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルの13物質（以下「規制対象化学物質」という。）とする。 規制対象化学物質を発生する建築材料の使用を可能な限り制限することとし、材料選択は次の1から5の規定を原則とする。 1 ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレン（以下「ホルムアルデヒド等」という。）を発生する建築材料等の使用制限。 <table><tr><th>対策をとる建築材料等</th><th>使用制限</th></tr><tr><td>(1) 合板 木質系フローリング 構造用パネル 集成材 単板積層材 MDF パーティクルボード その他の木質建材</td><td>ホルムアルデヒド等を発生しないか、発散がきわめて少ないJAS又はJISの規格品（以下「規格品」という。）とする。</td></tr><tr><td>(2) 家具 書架 実験台 その他の什器等</td><td>(1) (5) (7)に掲げる建築材料等を使用している場合は、ホルムアルデヒド等を発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</td></tr><tr><td>(3) ユリア樹脂板</td><td>ホルムアルデヒド等を発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</td></tr><tr><td>(4) 壁紙</td><td rowspan="3">ホルムアルデヒド等を発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</td></tr><tr><td>(5) 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤</td></tr><tr><td>(6) 保温材 緩衝材 断熱材</td></tr><tr><td>(7) 塗料</td><td></td></tr><tr><td>(8) 仕上塗材</td><td></td></tr></table> ※原則として内装仕上げには、ホルムアルデヒドの発散に関し規制対象外の建築材料（F☆☆☆☆）をできる限り使用し、当面の間、該当する材料が無い場合は第3種ホルムアルデヒド発散材料（F☆☆☆等）を使用すること。 ※*天井裏、小屋裏、床裏、壁、収納スペース等に使用する建築材料は、ホルムアルデヒドの発散に関し、規制対象外の建築材料（F☆☆☆☆等）又は第3種ホルムアルデヒド発散材料（F☆☆☆等）を使用すること。 2 トルエン、キシレン及びエチルベンゼン（以下「トルエン等」という。）を含有する塗料及び接着剤の使用制限。 <table><tr><th>対策をとる建築材料等</th><th>使用制限</th></tr><tr><td>(1) 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤</td><td>トルエン等の含有量が少ない規格品とする。</td></tr><tr><td>(2) 塗料</td><td></td></tr></table> 3 クロルピリホス、ダイアジノン及びフェノルカルブ（以下「クロルピリホス等」という。）を含有する防霉・防蟻剤の使用制限。 <table><tr><th>対策をとる建築材料等</th><th>使用制限</th></tr><tr><td>木材保存（木材の防霉・防蟻処理）剤</td><td>クロルピリホス等を含有しない非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い、充分乾燥した後に現場へ搬入する。</td></tr></table> 4 可塑剤を使用している建築材料等の使用制限の原則 <table><tr><th>対策をとる建築材料等</th><th>使用制限</th></tr><tr><td>(1) 壁紙用接着剤</td><td>フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。</td></tr><tr><td>(2) 木工用接着剤</td><td>フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。</td></tr></table> 5 その他 建築材料の選定にあたっては、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律第14条によるMSDS（化学物質安全データシート）等を活用し、規制対象化学物質の含有量を確認し、その発散低減に努めること。 接着剤及び塗料の塗布に当たり、使用方法及び塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとるものとする。 また、施工時、及び施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質等を室外に放出させる。	対策をとる建築材料等	使用制限	(1) 合板 木質系フローリング 構造用パネル 集成材 単板積層材 MDF パーティクルボード その他の木質建材	ホルムアルデヒド等を発生しないか、発散がきわめて少ないJAS又はJISの規格品（以下「規格品」という。）とする。	(2) 家具 書架 実験台 その他の什器等	(1) (5) (7)に掲げる建築材料等を使用している場合は、ホルムアルデヒド等を発生しないか、発散が極めて少ないものとする。	(3) ユリア樹脂板	ホルムアルデヒド等を発生しないか、発散が極めて少ないものとする。	(4) 壁紙	ホルムアルデヒド等を発生しないか、発散が極めて少ないものとする。	(5) 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤	(6) 保温材 緩衝材 断熱材	(7) 塗料		(8) 仕上塗材		対策をとる建築材料等	使用制限	(1) 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤	トルエン等の含有量が少ない規格品とする。	(2) 塗料		対策をとる建築材料等	使用制限	木材保存（木材の防霉・防蟻処理）剤	クロルピリホス等を含有しない非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い、充分乾燥した後に現場へ搬入する。	対策をとる建築材料等	使用制限	(1) 壁紙用接着剤	フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。	(2) 木工用接着剤	フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。	④ 室内空気環境測定	1. 測定対象室等 ○一般 2 箇所 ・住宅等 戸 戸当たり 室 ・図示 ○ オール教室、LL教室 ※測定対象室について、改修工事着手前後を測定する。 2. 測定対象化学物質 規制対象化学物質のうち、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの6物質（以下「測定対象化学物質」という。）とする。 3. 測定方法 測定は、住宅の品質確保の促進等に関する法律（以下「品質法」という。）第3条第1項に規定する評価方法基準（平成13年国土交通省告示第1347号。以下「評価方法基準」という。）の第5の6-3の（3）に定める方法（アクティブ法）又はパッシブ型採取機器を用い、次の要領で行う。 （1）測定位置は、部屋又は測定区域の中央付近で、床から1. 2mから1. 5mの高さとする。 （2）測定対象室の全ての窓及び扉（造り付け家具、押入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、30分間換気する。 （3）その後、測定対象室の全ての窓及び扉を5時間以上閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。 （4）測定は（3）の状態のままで行う。 ア パッシブ採取機器では、測定時間は24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。 なお、8時間測定の場合は、午後2時から午後3時までを測定時間帯の中央となるよう、午前10時30分から午後6時30分までの時間帯とする。測定回数は、1回とする。 イ 品質法の評価方法基準第5の6-3の（3）に定める標準的な方法の場合、採取は30分以上継続して、同時又は継続して2回以上行うこと。また、午後2時から午後3時を測定時間帯の中央となるよう設定する。 注：（2）（3）（4）において、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。 ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。 （5）分析 品質法の評価方法基準第5の6-3の（3）-ロー2に定める方法、又は測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器使用の場合は、分析機関に送付し、濃度を測定する。 （6）測定後 完成検査までに、測定年月日、測定時刻、測定結果、測定時の気温・湿度・天候、及び内装仕上げ工事の完了した年月日等を記録したものと材料測定資料を整理し、提出すること。 4 判定基準 次表ア欄の測定対象化学物質の濃度がイ欄の数値（以下「基準値」という。）以下であること。 <table><tr><th>ア</th><th>イ</th></tr><tr><td>ホルムアルデヒド</td><td>0. 08ppm</td></tr><tr><td>トルエン</td><td>0. 07ppm</td></tr><tr><td>キシレン</td><td>0. 05ppm</td></tr><tr><td>エチルベンゼン</td><td>0. 08ppm</td></tr><tr><td>スチレン</td><td>0. 05ppm</td></tr><tr><td>パラジクロロベンゼン</td><td>0. 04ppm</td></tr></table> 5 基準値を超えた場合の措置 基準値を超えた場合は、建物使用開始までの間、強制換気等により放散の促進を図り、基準値を下回することを確認するとともに、原因等を分析し報告書を提出すること。	ア	イ	ホルムアルデヒド	0. 08ppm	トルエン	0. 07ppm	キシレン	0. 05ppm	エチルベンゼン	0. 08ppm	スチレン	0. 05ppm	パラジクロロベンゼン	0. 04ppm
	対策をとる建築材料等	使用制限																																																				
	(1) 合板 木質系フローリング 構造用パネル 集成材 単板積層材 MDF パーティクルボード その他の木質建材	ホルムアルデヒド等を発生しないか、発散がきわめて少ないJAS又はJISの規格品（以下「規格品」という。）とする。																																																				
	(2) 家具 書架 実験台 その他の什器等	(1) (5) (7)に掲げる建築材料等を使用している場合は、ホルムアルデヒド等を発生しないか、発散が極めて少ないものとする。																																																				
	(3) ユリア樹脂板	ホルムアルデヒド等を発生しないか、発散が極めて少ないものとする。																																																				
	(4) 壁紙	ホルムアルデヒド等を発生しないか、発散が極めて少ないものとする。																																																				
	(5) 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤																																																					
	(6) 保温材 緩衝材 断熱材																																																					
	(7) 塗料																																																					
	(8) 仕上塗材																																																					
対策をとる建築材料等	使用制限																																																					
(1) 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤	トルエン等の含有量が少ない規格品とする。																																																					
(2) 塗料																																																						
対策をとる建築材料等	使用制限																																																					
木材保存（木材の防霉・防蟻処理）剤	クロルピリホス等を含有しない非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い、充分乾燥した後に現場へ搬入する。																																																					
対策をとる建築材料等	使用制限																																																					
(1) 壁紙用接着剤	フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。																																																					
(2) 木工用接着剤	フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。																																																					
ア	イ																																																					
ホルムアルデヒド	0. 08ppm																																																					
トルエン	0. 07ppm																																																					
キシレン	0. 05ppm																																																					
エチルベンゼン	0. 08ppm																																																					
スチレン	0. 05ppm																																																					
パラジクロロベンゼン	0. 04ppm																																																					